

# ワークショップの道のり

日ごろ、高校生が感じている安中市の課題や「こうなれば良いのに」という思いを直接、市に伝える。自分の高校だけでなく、他校の生徒と一緒に悩み、考えたアイデアをまとめるまでの流れを紹介します。

## 5月上旬

ワークショップ(WS)に先立ち、高校2年生を対象に市のイメージについてアンケートを実施。

## 5月31日

### 「安中市の今を考えよう！」

各校でのWS1回目。アンケートの集計結果を説明し、そこからみえる課題をグループで検討。

## 6月14日

### 「選ばれる安中市ってどんなまち？①

各校WS2回目。市の概要を職員が説明し、実際に「選ばれる」にはどうしたら良いか話し合い、意見をまとめる。

## 7月25日

### 「選ばれる安中市ってどんなまち？②

市役所での共同WS1回目。各校でまとめた結果を発表し、さらに学校を越えたグループで感想や傾向、違いなどを話し合う。

## 8月8日

### 「選ばれる安中市になるために」

共同WS2回目。いろいろな人たちに「選ばれる」ためにはどうすべきか、キーワードをまとめ、必要な解決策を考えて発表する。



写真①～③ 安中総合学園高、松井田高、新島学園高でのワークショップ。市の課題などについて話し合う生徒たち  
写真④・⑤ 共同ワークショップの様子。仮想の人を設定し、「なぜ安中市に来た(選んだ)」か、発表する生徒たち  
写真⑥ 市役所で行われたワークショップの報告会

## 「選ばれる安中市になるために」

共同WSの後半は、これまでに出了された意見をもとに、仮想の人物(家族)を設定し、その人がなぜ安中市に住もう(訪れよう)と思ったのか。その理由と、感じている悩みについて模造紙にまとめ、発表しました。

「キャンプが好き、安中市は自然が豊か」、「歴史好きな子どもと一緒に文化財巡り」、「子育てしやすそう」といった良いところあげられる一方、「整備された公園が少ない」、「バスなどの公共交通が少ない」、「大型の商業施設がなく買い物に不便」「街灯が少なく、夜歩くのが怖い」などの不満・改善点もあげられました。

「若者の声を市政に」という試みはまだ、スタートラインに立ったばかりです。そう遠くない未来、選ばれる安中市になるために、この声をしっかり受け止め、埋もれてしまわないよう、これからも市全体で取り組んでいきます。